

# はまかせ

風が運ぶお知らせ便り♪



## Message

### がんゲノム医療について

## Information

- EBISU♥キッチン  
香ばしさを減塩編 一南瓜の黒ごま炒め
- にしびょう Topics  
地域医療連携からのお知らせ
- 終末期の意思決定支援について
- 院長エッセイ「四季雑感」  
教授退官記念誌
- ～ふらっと西宮～ vol.1  
西宮市紹介



# がんゲノム医療について

腫瘍内科部長：橋原 啓之

Pick Up. 028



厚

生労働省によりがんゲノム医療中核拠点病院、拠点病院、連携病院が指定されて大きな話題となっています。「ゲノム」は、gene と chromosome（染色体）あるいは gene+ -ome（総体）をあわせた造語です。第3期がん対策推進基本計画の中では「がん医療の充実」の最初に登場しています。

が

ん遺伝子パネル検査は、従来、癌腫毎に行われていた診断と治療が1対1に対応するコンパニオン診断がさらに発展したものです。がんに関連する遺伝子を絞り込み、次世代シーケンサーにより網羅的に高精度の遺伝子解析を行う技術が臨床応用されました。わが国では、新たに承認された大阪大学の Oncomine™ Target Test システムを含めて3種類が利用可能です。先進施設では遺伝子の副次産物を含めて病的意義がディスカッションされています（プレジジョンメディシン）。

腫

瘍内科は、米国で発展した診療科です。固形腫瘍を対象として臓器横断的ながん治療の司令塔としてコーディネーターの役割を担います。当科では子宮、後腹膜原発を中心として軟部肉腫（パゾパニブ、トラベクテジン、エリブリン等）に対する最新の内科的治療の成績を国際的に発信中です。さまざまな施設と連携してゲノム解析研究・集学的治療にも取り組んでおります。また若手腫瘍内科医を多数募集中です。

抗

がん剤の臨床開発は、かびや苔から毒素を抽出し、毒をもって毒を制する暗黒時代を経て、分子生物学に基づく臓器横断的な分子標的治療（アンブレラ試験）へと発展し、さらに癌腫を超えて共通する遺伝子異常に基づくバスケット試験へと発展しつつあります。それに伴い腫瘍内科医の果たす役割と範囲がますます拡大し、患者・家族のニーズが高まっております。

前方連携に看護師 1 名配置になりました。

患者、家族の利益を最優先とした医療の提供が行えるようにスムーズな対応ができるよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願い致します。



## 終末期の意思決定支援について



日程：11/14（木） 17時～18時30分

第 17 回地域連携懇談会にご参加頂きましてありがとうございます。

緩和ケア～ACPについて～副院長兼地域医療連携センター長兼消化器病センター外科部長福永 睦からと外来、病棟での事例紹介を看護部次長兼がん化学療法看護認定看護師日野千奈美、がん化学療法看護認定看護師渋谷はるみよりお話を頂きました。

最期の看取りの場所をどこでどう過ごされたいか患者・家族の意向、意思決定により可能な限り支援できるようにつないでいきたい思いを共有できた機会になったかと思えます。

また、今年度も皆様のご意見を参考に企画していきますのでよろしくお願い致します。

地域医療連携課 課長 小川かおり





**私**は、昨年の3月に大阪大学を退職しました。教授が退官する場合、退官記念誌を出版することが慣例となっています。教授によっては、教授就任5周年、10周年、15周年・・・と言った感じで頻りに記念誌を出版する方もいらっしゃいますが、私は筆不精でもあり、また、教室員への負担回避のためにも21年間の教授在任中一度も記念誌を出版したことはありません。ただ、さすがに退官記念誌だけは、教室員には負担を掛けて大変申し訳ないとは思いましたが、慣例に則って出版することにしました。現在、出版に向けて大詰めの作業を行っているところです。記念誌には、大学を卒業してからの私の医師としての、特に研究者としての歩みを「私の乳癌研究史～40年間の歩み～」というタイトルで掲載する予定です。大学では日々忙しくなかなか過去を振り返る余裕はありませんでしたが、退官し大学を離れた今、少し客観的に自分の過去を振り返る大変良い機会に恵まれたと感謝しています。掲載予定の私の文章（序文）の一部を以下に紹介します（一部改変）。

「私は、1998年4月1日に42歳で大阪大学医学部・腫瘍外科（現在、乳腺内分泌外科）の教授に就任しました。早いものであれからもう21年が経ち、2019年3月末を持って教授を退任致しました。今でも21年前の教授会デビューの時のことは、鮮明に覚えています。私は、大阪大学医学部を卒業後に同附属病院で勤務した経験は全くなく、また、吹田移転後に同医学部に行ったことも一度もありませんでしたので、1998年4月に教授に就任し最初の教授会に出席する時は、教室から会議室への行き方も分からず、広い医

学部の中をあれこれ人に道を尋ねている間に時間が経ち焦りに焦りましたが、何とか会議が開始する直前には会議室に辿りつくことができました。しかし、本当の窮地はそれからでした。会議室の入り口の扉を開けた時、血の気がさっと引く思いがしました。私は医者 の正装は白衣であると長年叩き込まれていたのが当然教授会も白衣で参加するものであると何も疑わず信じていましたが（「白い巨塔」の教授会のシーンでも確か教授は皆白衣を着ていたと思います）、扉口から会議室を見渡すと教授全員がネクタイ・スーツ姿でした。今更、部屋に引き返して着替える分けにもゆかず、恥ずかしい思いをしながら、皆の冷たい視線や冷笑をひしひしと背に感じながら、更に、自分の席がどこかよくわからず部屋の中を行ったり来たりしながらやっと自分の席に辿りついたことを覚えています。会議室の入り口から私の席までわずか数メートルしかない距離ですが、本当に「近くて長い道のり」でした。」

これも今は、懐かしい思い出です・・・

**CNNコーヒークップ**：私のPC機の右隣のコーヒークップは、今から10数年前にアトランタで開催された米国臨床腫瘍学会に参加した時にお土産に買ったものです。かなりの年季ものですが、今でも日々愛用しています。ところで、アトランタにはCNNの本社があります。当時、マスメディアについてあまり深く考えることはありませんでしたが、今は、真実を報道する良識あるメディアの重要性を痛感しています。



兵庫県立西宮病院長  
野口 眞三郎

# INTER VIEW



**Q** 抗がん剤治療を受けるには必ず入院が必要ですか

**A** 抗がん剤の種類や診療科にもよりますが、吐き気止めやからだのだるさを抑える薬などを使って外来通院で行えることが多くなっています。ライフスタイルに合わせて通院治療を受けられ、そのために必要な就労支援やウイッグの紹介などご相談に応じています。またご自宅で体調が悪くなり、主治医がいない夜間・休日には当直医師のサポートがあります。

**Q** 抗がん剤治療を受けるには色々な心配事がありますが、話を聞いてくれるところはありますか

**A** 外来化学療法センターに勤務する看護師、薬剤師にご相談ください。他にも当院には相談窓口としてがん相談支援センターがあります。また、がん看護専門看護師、(乳がん・化学療法・放射線療法) 認定看護師が勤務していますのでご相談したいことがあればお申し出ください。

(看護師: 山名 みどり)

## EBISUキッチン

香ばしさを減塩編 BY. 栄養管理部

今回は、『南瓜』を使った減塩レシピを紹介します。『南瓜』は昔から冬至に食べると風邪をひかないとも言われてきた食材です。ぜひ、ご家庭でもお試しください。



南瓜の黒ごま炒め

いつもの煮物と違う簡単きんぴらで南瓜を味わってみてください♪

●材料 (4人分)

南瓜	1/8個
ごま油	適量
砂糖	小さじ1
薄口醤油	小さじ1
黒ごま	少々

エネルギー	69kcal
1人当たり たんぱく質	1.2g
栄養価 脂質	2.3g
炭水化物	11.1g
塩分	0.2g

●作り方

- ①南瓜を細切りにする。
- ②フライパンにごま油をひき、南瓜と砂糖を炒める。
- ③薄口醤油を鍋肌に回し入れる。
- ④仕上げに黒ごまを入れざっと炒めたら完成!



料理のポイント

- ◇南瓜1/8~1/4に軽くラップをかけ、600Wのレンジで2~3分温めると切りやすくなります。
- ◇β-カロテンは皮の部分にも多く含まれているので、皮は剥かずにそのまま使ってください。
- ◇ごま油の代わりに無塩バター(小さじ2)を使ってもコクが出て、ひと味違った仕上がりになります。
- ◇ごま油やすりごま・煎りごまを使用すると、香ばしい香りで風味が増し、塩分を控えめにしても口の中に香りが広がります。
- ◇出汁などの水分を使わない分、味がよく絡み少ない調味料でもしっかりとした味がつきます。

南瓜に多く含まれるβ-カロテンは体内でビタミンAにかわり、皮膚・粘膜の健康を助ける働きや免疫力に関係しています。β-カロテンは脂溶性なので油と一緒にすることで吸収もアップします!



管理栄養士: 今西 恵里奈、調理師: 北川 伸江

新企画 第1弾

# ～ふらっと西宮～ vol.1 大関酒造今津灯台

<http://nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp/>



今津の酒造家「大関」醸造元、長部家5代目長兵衛によって、今津港に出入りする樽廻船や漁船の安全を願い、1810年に建てられた灯台が「大関酒造今津灯台」の起源です。  
1974年には西宮市が重要有形文化財に指定。今も現役で常夜灯として稼働しています。  
津波防災工事のため、移転先を検討されているようです。

はまかぜ編集委員

## 編集後記

編集室



はまかぜ編集委員をしております長田（おさだ）と申します。  
いつもはまかぜをご愛読いただきありがとうございます。  
今回ははまかぜから、絵の中を旅して が終了となり新企画として～ふらっと西宮～という西宮にあるいろいろなスポットや名所を紹介していこうと思います。これからも、はまかぜで最新の医療情報はもちろん地域情報及び名所等を紹介していきますので今後ともお付き合いの程よろしくお願ひします。

はまかぜ編集委員 長田 拓也

HAMAKAZE

2020  
Vol.28

## 兵庫県立西宮病院

〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町13番9号  
TEL:0798-34-5151(代表) FAX:0798-23-4594  
地域医療連携センター FAX:0798-34-4436  
E-mail:chiiki-kn@hp.pref.hyogo.jp

[nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp](http://nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp)

2020.1 発行